

# 建築基準法施行令の平成21年・平成26年改正により設けられた エレベーターの防災対策の基準

## 【防災対策改修の例】

### ① 地震時管制運転装置の設置

初期の微振動(P波)を感知して、本震(S波)が到達する前にかごを最寄り階に自動着床させる装置。

### ② 主要機器の耐震補強措置

地震時にロープが揺れ、昇降路内の突出物へ絡まることや、駆動装置等の転倒を防ぐ措置。

### ③ 戸開走行保護装置の設置

駆動装置やブレーキに故障が生じ、エレベーターの乗場の戸が閉まる前にかごが昇降することを防ぐ装置。

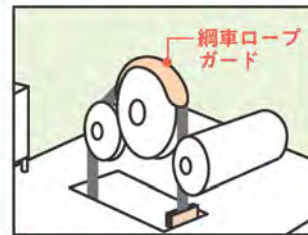
### ④ 釣合おもりの脱落防止措置

釣合おもりがおもり枠から外れ、落下することを防ぐ措置。

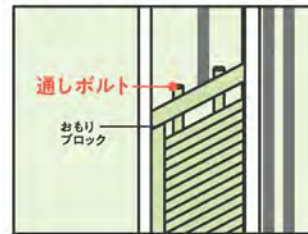
### ⑤ 主要な支持部分の耐震化

「主要な支持部分」である主ロープやガイドレール等について、構造耐力上の安全性を確保したものにする。

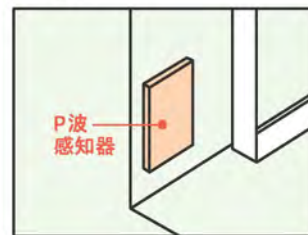
### ② 巻上機の綱車からのロープはずれ防止



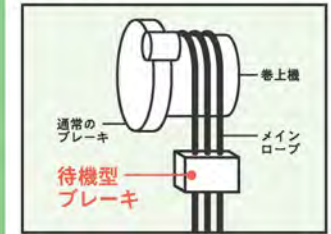
### ④ 釣合おもりの脱落防止措置



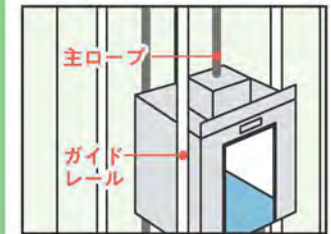
### ① 地震時管制運転装置の設置



### ③ 戸開走行保護装置の設置



### ⑤ 主要な支持部分の耐震化



### ② ロープの絡まり防止

